

優秀賞

はじめてのピアノはじめての私

神奈川県 川崎市立東門前小学校二年 水野 友梨佳

「あれ、ペダルをふんでいるのにピアノがひびかない」。

ピアノのはっぴょう会でピアノをひきはじめてたしゅん間、わたしはパニックになってえんそうがと中でとまってしまいました。

今日は、はじめてのピアノのはっぴょう会です。わたしは、小学校に入った四月にピアノをはじめました。三月にきよくをきめてから今日まで、ほとんど毎日一生けんめいれんしゅうしてきました。

また、はっぴょう会でかわいいドレスをきるのが楽しみで、わくわくしていました。たくさんの人の前でピアノをひくのはきんちようするな、間ちがえたらどうしよう、とふあんな気もちもありました。

でも、かわいいドレスをきているからがんばろう、間ちがわずにきつとひける、と自分に言い聞かせてピアノをひきはじめました。

それなのに、パニックになったわたしはえんそうがとまってしまったのです。

わたしの心ぞうが、ドクドクドッキンとしました。どうしよう、どうしよう、間ちがえちゃった。ここからにげ出したくなりました。

でも、だれもたすけてくれる人はいません。力をふりしぼってやるしかない。わたしは気もちを切りかえてピアノにしゅう中しました。そこから先は、さい後まで間ちがわずにひき切りました。ほつとした気もちと、まだ少しむねがドキドキしていました。

ぶたいそでにもどると先生が、
「ペダルがしっかりセットされてなかったみたいなの。ごめんね。」

と、あやまってくれました。お父さんとお母さんとお

ばあちゃんが、

「がんばったね。おつかれさま。」

と、えがおで言ってくれました。お父さんは

「間ちがった時には、パニックでなくかと思つたよ。でも気もちを切りかえてよくがんばったね。」

と、ほめてくれました。今までは、何かをしっばいするとパニックになってしまふことが多かったけど、さい後まであきらめずにやり切つた自分におどろきました。

わたしは、間ちがったりしっばいすることはいやなことだと思っていました。

どうしてかというと、何かをしっばいすると心の中が、どうして自分はこんなこともできないの、とイライラしたりがっかりした気もちでいっばいになるからです。

でも、しっばいしてもわたしにはそれをのりこえる力があることがわかつたら、しっばいしてもべつにいいじゃんと思ひました。しらないうちに、わたしの心の中に小さな自しんのめが出ていました。

これからは、しっばいすることを気にせず色々なことにチャレンジして、心の中の自しんのめをもつと大きくそだてていきたいです。

